

令和 3 年第11回久米島町議会定例会一般質問

期日： 令和3年12月14日

令和3年第11回 12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	翁長 学	1. 今期の製糖期間について	令和3年12月14日(火)
		2. 県道の整備について	
2	盛本 實	1. 移住・定住の取り組みについて	令和3年12月14日(火)
		2. 消防庁舎の現状について	
		3. 観光地整備について	
		4. 高速船導入に関する町の意向について	
3	吉永 浩	1. 認定こども園について	令和3年12月14日(火)
		2. ガソリン価格の高騰について	
		3. 第2次総合計画について	
		4. 農業政策について	
4	真栄平 建正	1. 観光振興について	令和3年12月14日(火)
		2. 漁業振興策について	
		3. 農業振興について	

令和3年第11回 12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. 伝統工芸産業の振興について	令和3年12月15日(水)
		2. 観光地の整備について	
2	富永 肇	1. プロ・アマチュアスポーツキャンプについて	令和3年12月15日(水)
		2. 学校教育について	
		3. 子ども議会について	
3	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について	令和3年12月15日(水)
		2. 国立公園構想と自然再生について	
		3. 県道89号線の拡張工事について	
4	新垣 幸子	1. 歯科診療所の開設について	令和3年12月15日(水)
		2. 「久米島動植物島外持ち出し禁止条例」制定の進捗状況について	
		3. 「久米島男女共同参画推進計画」の具体的要望について	
		4. ALT配置事業の再設置について	
		5. 高齢者向けのスマホやIT講座の教室開設について	

令和3年第11回 12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	東江 浩明	1. 再生可能エネルギー活用事業の現状と取り組みについて	令和3年12月16日(木)
		2. クリーンセンター及びリサイクルセンターの現状と活動状況について	
2	赤嶺 秀徳	1. 軽石対策について	令和3年12月16日(木)
		2. 道路整備について	
		3. ヤングケアラーについて	
3	棚原 哲也	1. 仲里総合グラウンド及び野球場の施設整備について	令和3年12月16日(木)
		2. 海岸漂着ゴミの処理について	
		3. 奥武島西海岸の砂州の保全について	
		4. 墓地公園の整備について	
4	喜久里 猛	1. 養蜂振興法について	令和3年12月16日(木)
		2. 県道一周線について	
		3. マツ材線虫病(松くい虫)対策について	
		4. 人口減少問題について	

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	12翁長 学	1. 今期の製糖期間について	前期の製糖は、工場の機械トラブルにより収穫が遅れた。今期のキビの成長は。農家の支援は。	町長	今期のさとうきびの成育は、直近の12月の生育調査で生育本数は10a当たり、前年より373本多く、平年より403本多い。茎長は前年に比べ26cm長く、平年に比べ17cm長い。葉数も平年より約2枚ほど多く、さとうきびの成育は順調で生産量も昨年度より増える見込みとなっております。また、甘藷糖度調査も前年より1度高く、平年値より約2.2度高くなっております。農家への支援も昨年同様引き続き、病害虫防除対策事業、灌水対策事業の支援を行います。	産業振興課
2		2. 県道の整備について	県道の下阿嘉から上阿嘉の間が陥没し、段差があり危険である。調査、改修の計画があるか。	町長	県へ確認したところ以下のとおり回答がありましたので、報告します。 当該区間の変状については、令和元年度から2年度にかけて地すべり調査を行っています。新たな地すべり面の確定には至りませんが、道路改良工事の際に地すべり対策工事（抑止杭工）が実施されており、その効果が発揮されているものと考えております。今後の対応として、舗装補修工事を今年度で発注し路盤も含め改修する予定であります。補修後も変状等を注視しながら、必要に応じて対応を検討していく考えであります。	建設課
3	2盛本 實	1. 移住・定住の取り組みについて	次の件について伺います。 (1) 本町において移住・定住に本格的に取り組んだのはいつ頃からなのか (2) 取り組み内容について (3) 年次別実績について (4) 今後の取り組み方について	町長	(1)本町において、移住・定住に本格的に取り組み始めたのは、島ぐらしコンシェルジュを配置した平成28年5月からとなります。 (2)移住に関する総合相談窓口となっておりますので、相談を受けたものには対応する取り組みとしております。 (3)島ぐらしコンシェルジュを通して移住した方の年度別の実績は、平成28年度21名、平成29年度21名、平成30年度40名、令和元年度25名、令和2年度28名、合計135名となっております。 (4)今後の取り組みについては、「住まい」がないことが移住を検討するうえで一番の課題となっておりますので、空き家の利活用など継続して取り組んでまいります。	企画財政課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	2盛本 實	2. 消防庁舎の現状について	去る10月6日に消防庁舎の視察を行いました。その結果、建物のクラックや鉄筋の露出やコンクリート塊等が多くみられかなり危険な状況にある。また、敷地内での陥没等も多く見られ消防機能の低下を招く恐れがあるが、その対策について伺います。	町長	消防庁舎は、平成元年に竣工し、32年が経過しております。以前から建物全体に、ひび割れや剥離が進行している状況が確認されたことから、令和2年度において、主要構造部の一部の補修工事を実施しております。 令和5年度に設計業務を行い、令和6年度に改修工事の実施を計画しております。 敷地内の陥没等に関しては、独自で調査したところ、複数個所に陥没が見られたことから、今後、専門業者に地質調査を依頼することを検討しています。	消防本部
5		3. 観光地整備について	先般、久米島商工会及び久米島町観光協会より、「観光地整備に係る提案と要請」があったと思いますが、それに対する町の対策を伺います。	町長	今回の提案と要請につきましては、令和3年10月11日に、地域が一丸となって「シマの経営・経済」を考えることは必要不可欠であり、その手始めに、観光地の整備に注力することが「観光活力と地域力の増強」につながるとして、観光地9カ所について15件の提案を受けております。 町として本要請は、アフターコロナに向けて落ち込んだ町内の経済回復に向けての一つの提案としてとらえ、関係課と協議の上、対応してまいります。	商工観光課
6		4. 高速船導入に関する町の意向について	去る9月1日に那覇—久米島間において高速船の実証運航が行われました。これは本町が高速船導入を前提として行ったのか。それとも民間会社から独自運航で行ったのか。確認いたします。今後において本町の産業振興の面からこの高速船導入に対する意見を伺いたい。	町長	去る9月1日と2日に行われた高速船航路運航実証は、町が行ったものではなく、民間事業者の第一マリンサービス株式会社と久米島商工会、久米島町観光協会を中心とする「那覇・久米島間超高速船航路運航実証事業委員会」が行っております。本実証事業はアフターコロナを見据えた経済回復に高速船がどれだけ観光需要に効果があるのかを判断するため行ったものであります。 高速船導入に関しましては、現在、本町と久米商船株式会社が連携し、高速船導入に伴う課題や問題点の把握、ニーズを踏まえた需要予測、事業収支などの経営診断を行う「久米島航路改善計画策定業務」を実施しているところです。その報告書を踏まえ、高速船導入の可能性について検討してまいります。	プロジェクト推進課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	6吉永 浩	1. 認定こども園について	予算の確保の目途が立たず、一度振り出しに戻り、再検討することになった認定こども園、現在の方針や協議の進捗について伺う。	町長	認定こども園整備計画について、今年度は適正な事業実施が図られるよう検討しており、福祉課・教育委員会・企画財政課で合同会議を行っております。 本町では令和4年度から令和6年度にかけて大型事業が集中していることから、認定こども園の整備については、令和7年度以降ということで調整しております。	福祉課
8		2. ガソリンの高騰について	原油高によりガソリン価格が高騰し町民の暮らしを圧迫している。今後の見通しは。また町民の生活コスト軽減を図ることは定住条件にもなると考えるが、何らかの対策・取り組みを行う考えはあるのか伺う。	町長	本町のレギュラーガソリン1リットル当たりの小売価格は、沖縄県が公表している資料によると、令和3年9月で182.5円となっております。1年前の令和2年9月の155.5円より27円増加しております。 今後も高騰するかにつきましては、見通せていない状況にあります。 住民コストの軽減策についても、全国的に物価が高騰する傾向にあり、国や県において対策が検討されておりますので、それを踏まえて本町での取り組みを検討いたします。	企画財政課
9		3. 第2次総合計画について	第2次久米島町総合計画・後期基本計画と、総合戦略が策定され、今後5年間の方向性・目標・計画、そして目指す指標が示された。前期計画を踏まえ、結果を出すために役場体制・予算・町民との対話などどのような工夫を行っていく考えか伺う。	町長	第2次総合計画後期基本計画で掲げた目指す指標は、各事業のこれまでの取り組みの強みや弱みを知ることができることから、PDCAサイクルにより、継続的な検証及び改善を行うことで、町民サービスの質の向上に資するものと考えております。 実施体制については、各課で行っている町民との対話や協働での取り組みを、関連する課で共有し対応するなど、庁内での連携強化に努めてまいります。	企画財政課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	吉永 浩	4. 農業政策について	<p>第2次総合計画・後期計画の施策13に「暮らしの立つ農業地域づくり」の項目がある。以下の項目を伺う。</p> <p>(1) 施策の展開における農業基盤の整備及び維持管理についての今後の具体的計画は。</p> <p>(2) 先進的な農業技術の展開をどのように進めるか。</p> <p>(3) 付加価値の高い農作物の導入、生産量の拡大をどのように進める考えか。</p> <p>(4) 遊休農地及び原野化農地の解消の進め方と、その後の活かし方の方針はあるか。</p> <p>(5) 農業経営者や担い手育成・確保のため具体的にどのような対策を講じるのか。</p> <p>(6) 限られた農地、資源の中で「儲かる農業」を作り、魅力ある仕事にしていくことは、地域の活性化や人口減少対策にも関係してくる。若者が「挑戦したい・やってみたい」と思える産業にしていくために町長はどのような将来像を描いているのか伺う。</p>	町長	<p>(1) 農業農村整備事業により、現在清水第1地区・清水第2地区および比屋定2期地区と宇江城地区の整備を行っております。また、令和4年度から儀間地区において本工事に着手する予定となっております。また維持管理についても関係機関との連携を図り適切に管理してまいります。</p> <p>(2) さとうきびにおいては、島内のハーベスター30台にGPS装置を設置し、収穫作業の実態を可視化、定量化することで、機械収穫率の向上及び収穫作業の省力化を図る営農体系の検証事業を行っております。</p> <p>畜産においては、受精卵移植の採卵を行い育種改良や増頭に向けた取り組みを行っております。</p> <p>(3) 高付加価値作物の生産量拡大については、現在栽培されている花卉やかんしょ、ゴーヤーといった沖縄県の拠点産地として認定されている農作物の栽培技術をより一層向上させていくことで、久米島ブランドとして付加価値を高めていきます。また、新品種作物の導入については、コーヒーやバナナ等の栽培に取り組んでいる農家もあり、同様に沖縄県等関係機関と連携しながら、栽培技術指導等の支援を行ってまいります。</p> <p>(4) 遊休農地及び原野化農地につきましては、出し手と受け手の洗い出しを行い、農業の担い手である農家や農業法人へ農地中間管理機構と連携し、農地の集約化・集積化を図ってまいります。また、遊休農地の解消を図るための施策として、耕起や整地作業等に係る経費について一部補助を行えるよう検討しております。</p> <p>(5) 国、県の補助である農業次世代人材投資事業を活用し、若手農家を認定新規就農者として担い手育成の施策を講じているところです。今後も担い手の確保や支援を行いながら事業の継続に取り組んでまいります。</p> <p>(6) 高付加価値で差別化の図れる品種や栽培技</p>	<p>(1) 建設課 (2)～(6) 産業振興課</p>

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10					術により、差別化を図っていく等様々な方法がございます。本町においても若い農業従事者等が様々な作物に挑戦できるような環境づくりが必要だと考えております。	
11	10 真栄平建正	1. 観光振興について	1. 久米島の最大の観光資源は。その重要地区を何処と捉えているかを伺います。 2. 当地区の過去3年間の具体的な観光振興策と今後の実施計画について伺います。	町長	1. 久米島の最大の観光資源は、豊かな自然環境とその環境で育まれた特産品、また、島で引き継がれてきた文化や島民とのふれあいこそが本町にとって重要な観光資源であると認識しております。 観光振興における島内の地域区分につきましては、「久米島町の新たな観光ビジョン」で各地区の特性を踏まえ東部、西部、南部、北部地区に整理しており、各地区の特徴やポテンシャルを活かした観光振興を図ることとしています。 2. 過去3年間の観光振興策としては、観光協会と連携した観光対策推進事業、観光誘客支援事業等の実施や、くめじまDMOの設立が挙げられます。今後は東部地区でバーデハウス久米島の再生及び周辺施設を活用した観光拠点づくりを推進してまいります。	商工観光課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	10 眞栄平建正	2. 漁業振興策について	1. 久米島の売上上位の漁業種目と金額。また、その漁業の重要地区を何処と捉えているか伺います。 2. 当地区の過去3年間の具体的な漁業種目への振興策と今後の実施計画について伺います。	町長	1. 令和2年度の実績としては、1番目に「もずく」で生産額が5億8千624万円、2番目に「養殖えび」で生産額が5億7千715万円、3番目に「海ぶどう」で生産額1億9千551万円、続いてセリにおける魚介類生産額が1億8千14万円となっております。また、重点地区としては漁業権漁場を中心としたエビ、モズクなどの養殖が盛んな真泊から奥武島、ハテの浜周辺及び海洋深層水企業用地を重要地区と考えております。 2. 過去3年間の実施した事業としては、製氷施設の整備、モズク加工場の機械設備の増設、中層型浮魚礁の敷設を5基、エビ養殖施設の長寿命化ということで1号池の水門工事及び5号池の巻上機2基を更新しております。今後は、既存施設等の長寿命化を含めたハード事業やサメ駆除等の事業である「離島漁業再生支援交付事業」等のソフト事業を計画的に行うことで、漁業の振興に努めてまいります。	産業振興課
13		3. 農業振興について	1. 農業における堆肥の重要性をどのように考えているか伺います。 2. 堆肥センター運営、品質向上等について、令和元年12月から2年間の改善策は、具体的な取り組みとその結果を伺います。	町長	1. 農業における土作りは作物を育てるうえで非常に重要で、土作りに堆肥を使用することは有効な方法だと考えます。 2. 久米島町堆肥センターの品質は、数年前より非常に向上しており、県内の堆肥センターの視察研修、また製造方法の改善により十分発酵させた完熟堆肥を製造することができており、現在、臭いもなく、品質のいい堆肥となっております。堆肥の製造量は令和元年度から比較すると令和元年度の実績は708.4t、令和2年度は658t、令和3年度は846tになる見込みとなっております。令和元年度から比較して約140t程度増量となっております。	産業振興課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	13 幸地 猛	1. 伝統工芸産業の振興について	<p>久米島紬の振興策について</p> <p>久米島紬は国の重要無形文化財として、また伝統工芸産業として長い歴史をたどって現在に至っております。今後とも存続発展させていくために、現在の久米島紬の現状を検証把握し、その諸問題の解決に向けて取り組んでいく必要があると思っておりますが、下記の項目について伺います。</p> <p>(1) グール等の紬の染色材の確保が厳しいと言われております。気軽に採取しやすい場所を選定し、植栽する考えはないか伺います。</p> <p>(2) グール等の染色材、泥採取業者の確保について紬組合として確保しつつあるが厳しい状況であるという報告があります。その現状を把握し対策を講じる必要があると思っておりますが、町の考えを伺います。</p> <p>(3) 久米島町公共施設等総合管理計画では、久米島紬比嘉ユイマール館、西銘保育所跡訓練所(久米島紬訓練所)が廃止する計画になっています。その代替施設について町として考えているのか伺います。</p>	町長	<p>(1)、(2)染色材の確保については、紬組合より聞き取りを行いました。特にグールは近場で採取できないため、採取に労力を要しています。また、泥採取業者の確保や質の良い泥の確保が厳しい状況にあり、さらに質の良い泥確保のためには採取地の整備が必要とのことでした。</p> <p>久米島紬を後世に引き継いでいくためには、持続可能な染色材の確保も検討しなければならないと考えていますので、植栽も含め組合、関係課と連携して検討してまいります。</p> <p>(3)久米島町公共施設管理計画において「廃止」と位置付けられている両施設につきましては、令和3年度の施設点検結果報告でも「緊急措置段階」と「耐用年数到来施設」として報告されています。計画に基づいた早急な対応が求められていますが、現在も紬の生産の場として利用されていますので、紬組合と協議中です。</p>	商工観光課
15		2. 観光地の整備について	<p>アーラ林道の整備について</p> <p>アーラ林道のさくら並木は町の観光拠点として多くの観光客が訪れる場所となっています。道路の亀裂等について現状を把握し、早めに補修する必要があると思っております。また、ポケットパーク、休憩ベンチ等の設置についての要望もありますが、町の考えを伺います。</p>	町長	<p>町道儀間29号線は、供用開始から約40年経過しており道路の亀裂等修繕が必要な箇所もございます。修繕箇所や整備要望については、関係機関と意見交換し道路整備で実施可能か検討してまいります。</p>	建設課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
16	3富永 肇	1. プロ・アマチュアスポーツキャンプについて	<p>プロ、アマチュアスポーツキャンプは本町の経済効果に大きく影響し、特にプロ野球、楽天のキャンプは観光オフシーズンに楽天ファンやマスコミや関係者が来島し消費活動を行い町経済に大きな影響を与える。島の活性化や子ども達への影響力も大きい。楽天キャンプ、アマチュアスポーツキャンプについて伺います。</p> <p>(1) 2022年楽天スプリングキャンプは。</p> <p>(2) 2022年のスポーツキャンプの予約、問い合わせ状況は。</p> <p>(3) キャンプ受け入れの要望や課題は。</p> <p>(4) 新たなスポーツ施設の整備予定は。</p>	町長	<p>(1)2022年楽天春季キャンプについては、10月15日に球団を訪問し、キャンプ実施に係る要望書を提出したところですが、11月21日に球団関係者が来島し来季キャンプを見送る旨の説明があり、12月5日に球団ホームページにて正式発表がありました。</p> <p>(2)2022年の大学野球チームのキャンプについて、2月から3月にかけて、9チームの合宿を予定しています。</p> <p>また、問い合わせは、複数の大学野球チームから頂いております。本町では、久米島野球場及び仲里野球場における効率的な受け入れを行う観点から、合宿誘致に関する協定を締結していますので、お問合わせ頂いたチームにはその旨ご説明申し上げ、協定先をご案内しています。</p> <p>(3)要望につきましては特にございません。仲里野球場側の屋内練習場の老朽化が課題となっております。</p> <p>(4)新たなスポーツ施設の整備予定はございません。</p>	商工観光課
17		2. 学校教育について	<p>2学期はコロナ禍においても小中学校は通常登校ができており、児童生徒や教職員、父母がしっかりと感染対策を行った結果である。コロナウイルス感染症第6波も予想されている。オンライン授業の対応について伺う。</p> <p>(1) GIGAスクール進捗状況は。</p> <p>(2) 家庭にインターネット環境の無い世帯率は。</p> <p>(3) インターネット環境の無い世帯への対応は。</p>	教育長	<p>(1)12月3日までに全学校への充電保管庫及び端末の配備を完了し、教職員対象に端末の操作方法及び使用可能アプリ紹介の研修を実施しました。また、年度内をめぐりにインターネット速度改善のための整備を行う予定です。</p> <p>(2)令和2年6月に実施した調査(対象394世帯)では、インターネット接続可能な世帯54.8%(216世帯)。インターネットが利用できない世帯5.6%(22世帯)。未回答34%(134世帯)の結果でした。</p> <p>(3)インターネット環境のない世帯への対応は、オンラインでの端末活用となる場合はモバイルルーターの貸出を予定しています。しかし、本町としては、まずは、ネット環境の有無に関わらず学習環境を確保できるよう、オフラインでも使用できるアプリの導入を検討しております。</p>	教育課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	3富永 肇	3. 子ども議会について	令和3年度久米島町子ども議会が11月2日に開催され、中学生14名が議場にて一般質問を行い、課題や要望を質問しました。質問内容や視点は真剣に取り組んだことが伺え感心しています。子ども議会は人材育成やキャリア教育的にも効果はありますか。	教育長	子ども議会は、数年後に有権者となる若者の政治参加を促す効果があると考えます。最大の効果は、主権者教育だと思います。未来を担う子どもたちが社会の基本である法律やきまりごとの理解を前提として、物事を多角的に考察し、公正に判断する力や課題解決に向けて政治参加など、協働して合意形成を図り、より良い社会の形成に主体的に参画しようとする力に繋がります。そのことが結果として社会や自分の人生を豊かにしていくためのキャリア教育にも繋がると考えております。	教育課
19	5宇江原総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について	<p>新聞では「防衛省は県内で統合演習を行う。電子戦部隊の配備計画だ。今回の演習で、本島、久米島、宮古島、与那国島で実施する統合電子戦訓練は、電子戦部隊の県内配備に向けた下地づくりの側面もありそうだ」としている。軍事ジャーナリストの小西誠氏は、沖縄の島々は軍事要塞化が進んでいると言う。</p> <p>琉球孤島のミサイル基地に加え、日本中が中国との戦争前のめりになってきた。政治的にも戦前の大政翼賛会に酷似し憲法9条の改悪で戦争を容易にできる。</p> <p>いよいよ久米島にもミサイル基地を含む軍事要塞の機能をなし、鳥島射爆劇場の実弾訓練も多くなってくる事が予想される。</p> <p>町長に次の4点について伺う。</p> <p>1つ目は、日本が台湾有事等に際して、中国と戦争した場合、米国が日本安保条約第5条に基づき、共に戦ってくれると思うか。</p> <p>2つ目は、本町のガンの発症者数は他の地域に比べ非常に多いと認められない。人体に影響はないとしている。その根拠は。</p> <p>3つ目は、米公文書の入手について、関係機関との調整は。</p> <p>4つ目は、久米島での放射性物質の事を発言すれば、水産物質等にも影響し、観光でも影響がでけるとの内容を答弁している。蓋をすれば解決するか</p>	町長	<p>1つ目は、国防は国の専権事項であり、答弁は差し控えさせていただきますが、万が一にも有事が発生しないよう国において不断の外交努力を行うべきと考えております。</p> <p>2つ目は、沖縄県衛生統計年報における死亡者に占めるガン死因率を根拠としております。内部被ばくすることで生ずるであろう、肺ガンや気管支の喉頭ガンによる死因率も県平均並みであり、他地域に比べて非常に多いとは認められません。</p> <p>3つ目の米公文書につきましては、関係機関を通して照会していますが現時点で確認できておりません。この件につきましては、軍転協へ要請しており、公的機関から入手できるよう努めてまいります。</p> <p>4つ目は、国は平成9年から平成14年に行った鳥島並びに久米島の陸域及び周辺海域における環境調査の結果、劣化ウランの影響は認められないことが確認されたとして、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っております。また、平成15年度以降は、久米島の陸域で放射能調査を行っておりますが、人体に影響を与える結果はでておりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務課 ・福祉課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
20	5 宇江原総清	2. 国立公園構想と自然再生について	<p>9月定例会の答弁で、自然再生推進法は、本町の自然資源の持続的な利用と後世への継承を図る上で重要としている。そう答弁しながら、</p> <p>(1) 本町のコンクリート護岸の環境影響評価等がないため、その事による影響は把握していない。</p> <p>(2) 一概に磯焼けが原因でモズク等の海藻類が減少していると考えていない。</p> <p>(3) 国立公園化への調査、計画は環境省が実施する事になっている。としている。</p> <p>(1)と(2)については、現場を把握し、多くの文献をひもとくことで理解できると思うがどうか。</p> <p>(3)については、我々の島は、我々で構想、イメージ図等を作成し、国に提示するのが道理だと思うがどうか。</p>	町長	<p>(1) これまでも環境への配慮・負荷の低減等を図りながら各分野の事業を推進してきたと思っております。今後においても環境に配慮した事業計画を策定し実施してまいります。</p> <p>(2) 磯焼けとは、「浅瀬の岩礁・転石域において、海藻の群落が季節的消長や多少の経年変化の範囲を超えて著しく衰退または消失して貧植生状態となる現象」と定義されております。久米島漁協への聞き取り調査を行いました。モズク等の海藻類も著しく衰退・消失し貧植生状態ではないと回答を受けており、町としても磯焼けであるとの認識はありません。</p> <p>(3) 国立公園は、環境省が調査計画することとなっていることから、今後においても連携し取り組んでまいります。</p>	<p>(1) 建設課</p> <p>(2) 産業振興課</p> <p>(3) 環境保全課</p>
21		3. 県道89号線の拡張工事について	<p>仲里小学校から宇根までの県道89号線の道路拡張工事が進んでいない。本道路は18年前から杭打が実施。2009年8月30日、当時の町長、通り会員が、土木建設部長に面談し、地権者の86%の同意書を添付した陳情書を提出した。県側は町役場の角の民家の同意撤去すれば、いつでも拡張工事を始めると断言。それも解決しているのかかわらず施行していない。現町政に原因があるのではないかと危惧している。何故、町長は、同道路拡張工事を強力に推進しないのか、伺う。</p>	町長	<p>当該路線については、歩道幅員が狭く、児童・生徒の通学及び日常生活における安心・安全・快適な通行に支障をきたしていることと特に車椅子や高齢者が手押し車などを使用する通行には障害となっております。さらに町民の生活道路のみならず、観光及び水産業、海洋深層水等の島内産業における幹線道路として重要な役割を担っていることから当該路線の重要性は強く認識しており、また、毎年開催されています県土木建築部との行政懇談会においてもその重要性から早期に整備していただくよう要望しております。</p>	建設課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22	7新垣 幸子	1. 歯科診療所の開設について	<p>(1) 副知事が来島し公立久米島病院を視察することですが、常設歯科の設置を強く要望してほしい。また今後の久米島の歯科医療について、公立久米島病院に常設歯科ができると仮定した場合、歯科診療所との関連性や整合性について伺いたい。</p> <p>(2) 面接において、最低何年勤務することの提示はしているか。また、募集要項について具体的な内容のものがあるのか伺う。</p> <p>(3) 歯科医師の選定や歯科診療所の場所について決定したか伺う。</p> <p>(4) 契約書の締結については、必須ですので見解を伺う。</p> <p>(5) 新しく決定した歯科医師への支援体制（相談等）をとり、歯科医師やスタッフが働きやすい環境を整えることが重要であるがどのように考えているか。</p> <p>(6) 令和4年の開業予定月はいつ頃になるか。また今後のスケジュールについて伺う。</p>	町長	<p>(1) 11月5日に謝花副知事が、公立久米島病院の現状と仲里歯科診療所の再開に向けての把握のため本町を視察しました。その際に、公立久米島病院での常設歯科設置を申し入れました。公立久米島病院に常設歯科ができた場合は、現在の歯科診療所との役割分担は必要になると思います。</p> <p>(2) 歯科医師の面接では、最低勤務年数の条件は提示していません。募集要項については、町ホームページに掲載した内容となります。</p> <p>(3) 開業していただける歯科医師については、既に決定しております。歯科診療所の場所についても現在の仲里歯科診療所をリニューアルすることで進めております。</p> <p>(4) 契約書につきましては、公共施設の利用及び管理について内容を詰め進めてまいります。</p> <p>(5) 開業していただく歯科医師と連携をとり、保健行政の推進を図ります。</p> <p>(6) 令和4年度中の開業を目指して進めております。今後のスケジュールは、耐力度調査、基本設計、実施設計、改修工事、医療機器の選定発注、開業の手続き及び検査を踏まえ、開業となります。</p>	福祉課
23		2. 「久米島町動植物島外持ち出し禁止条例」制定の進捗状況について	<p>(1) 前回の再質問の回答において、国の機関の環境省及び県の自然保護課と電話で確認を行っているとのことでしたが、その内容について伺う。</p> <p>(2) 先進地の条例の精査はどこまで行っているか。</p> <p>(3) この際、石垣市や宮古島市の先進地視察を行い、条例制定に向けスケジュールを組み、徹底した取り組みを行ってほしいが見解を伺う。</p>	町長	<p>(1) 環境省及び県の条例等の下、本町の位置づけについて確認いたしました。</p> <p>(2) 沖縄県条例、東村、宮古島市等の条例を参考に条例案を策定中です。</p> <p>(3) 先進地視察については、条例施行後にその運用や問題点について必要があれば行ないたいと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全課 ・博物館

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24	7新垣 幸子	3. 「久米島町男女共同参画推進計画」の具体的要望について	<p>すべての男女が互いにその人権を認め、責任を分かち合い、自分自身の個性と能力を発揮できるまちづくりをすることを基本理念としています。</p> <p>(1) 女性の活躍について 男女共同参画社会の推進や地域のリーダーとなる人材育成を図るため、婦人会や各種サークルで活躍している方を「沖縄県女性の翼」のセミナーや講演会等の研修事業に参加派遣できないか伺う。</p> <p>(2) LGBTの多様性の周知について 近年は、LGBT等、性多様性が全国的に広く認知されるようになった。誰もが平等で住みやすい町にするため、取り組み実施してはどうか3点伺う。</p> <p>①実態調査や把握、また相談体制を実施しているか。</p> <p>②那覇市が「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言や「パートナーシップ登録」の導入等、積極的に取り組んでいる。また、企業も活発に動いたり、協力的ですが、参考にしてはどうか見解を伺う。</p> <p>③啓発冊子やリーフレットを作成したり、研修会や講演会を開催する等、町民が性の多様性について学ぶ機会をつくってほしいが、見解を伺う。</p>	町長	<p>(1)人材育成につきましては、男女共同参画を推進するためには重要でありますので、各種研修会等へ参加・派遣できるよう取り組んでまいります。</p> <p>(2)①実態調査は行っておりません。相談体制につきましては、沖縄県が相談体制を整えていますので、周知に努めてまいります。</p> <p>②他自治体の取り組みを参考に検討してまいります。</p> <p>③国・県主催の研修会等がありますので、周知・広報活動に取り組むとともに、町主催の研修会等が開催できるよう努めてまいります。</p>	総務課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
25	7新垣 幸子	4. ALT配置事業の再設置について	<p>国際化の急速な発展に伴い、国際理解教育や英語によるコミュニケーション能力の育成を一層充実させるためのALT配置事業であるが、3点伺う。</p> <p>(1) なぜ廃止したか。主な理由について伺う。また、その際、学校現場(学校長や英語専科の教員)と十分な話し合いが行われたか伺う。</p> <p>(2) 財源は地方交付税措置が算入されているか。又は予算書には内訳がないが。全額一般財源か伺う。</p> <p>(3) 子ども議会の一般質問にもあり、回答として「ALT配置にかわる別の支援を検討中です」とあるが、どのように考えているか伺う。</p> <p>(4) ALT配置事業の必要性についての見解を伺う。</p>	教育長	<p>(1)本町において中学校にALT配置を導入した主な目的は、外国を身近に感じ、英語や海外に興味を持つ機会とすることでした。現在では小学校から英語が導入されており、また日本人英語指導員の配置により、当初の目的はほぼ達成されていると考え、今年度の契約期間をもって、ALT配置事業を終了することとしました。</p> <p>事業廃止について、学校現場との話し合いは行っておりません。沖縄県学力到達度調査による英語の結果等を勘案し、これまでと同様の支援ではなく、英語学習の未定着生徒に対する新たな支援策が必要だと教育委員会として判断しました。</p> <p>(2)JETプログラム(外国青年招致事業)を活用し、ALTの任用を行っているため、普通交付税措置がなされております。</p> <p>(3)令和4年度に向け、ALT配置にかわる英語教育の支援とし、日本人英語指導員1名の中学校への配置を検討しております。</p> <p>(4)ALT配置事業は大変意義のある事業だと考えます。しかし、本町の英語教育の現在の課題は「授業中の児童生徒のきめ細やかな支援」「協働での授業づくり・教材づくり」そしてなにより「小学校と中学校の接続」だと考えております。現在小学校に2名配置している日本人英語指導員配置を継続しつつ、中学校にも1名配置するとともに、定期的に小学校と中学校の情報共有を図り、小中の連携を図っていくことで、スムーズで効果的な小中接続が可能となるよう支援していきたいと考えております。</p>	教育課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
26	7新垣 幸子	5. 高齢者向けのスマホやIT講座の教室開設について	IT化時代になり、コンピューター、インターネット、携帯電話等を使うことが日常化となっている。高齢者の方々がスマートフォン携帯電話を使用する際、分かりづらく不便をきたしていることの相談があり、町でスマホやIT講座の教室開設ができないか、見解を伺う。	教育長	<p>政府がデジタル庁を発足し、近い将来、行政等手続きの殆どがスマホ、タブレット端末で行える時代が到来します。端末は年齢に関係なく使えないと防災、福祉面など日常生活にも支障を来すことが想定されます。また、人生100年時代が到来しつつある状況で、学びは健康で潤いのある生活を送る上で必要不可欠な要素です。</p> <p>教育委員会としては需要を把握した上で、生涯学習の一環として、IT講座や教室が開設できないか通信事業者等の関係機関と連携して推進してまいります。</p>	教育課
27	11東江 浩明	1. 再生可能エネルギー活用事業の現状と取り組みについて	<p>(1) ゼロカーボンシティー 低炭素社会構築を目指している内、現在の取り組みと今後の設備導入予定について伺う。</p> <p>(2) 海洋深層水利用による新規のエネルギー活用事業等はあるか伺う。</p>	町長	<p>(1) 「第2次久米島町総合計画基本構想」で掲げる「次世代のための島づくり」の実現と、先人たちが守り、育んできたこの豊かな自然環境を未来につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、実現に向け取り組みを進めるゼロカーボンシティを令和3年1月に宣言いたしました。</p> <p>現在の取り組みとしまして、「久米島町公共施設再生可能エネルギー利用促進制度」を制定し、公共施設の屋根等を民間事業者に提供し、太陽光発電設備や蓄電池などを設置・運用してサービスの提供を行う仕組みを構築しました。太陽光発電設備等に関しましては、民間活力を推進するとともに、公用車のEV導入も検討してまいります。</p> <p>(2) 海洋深層水を利用したエネルギー活用については、表層水と深層水の温度差で発電する海洋温度差発電による利用を想定しております。</p>	プロジェクト推進課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28	11東江 浩明	2. クリーンセンター及びリサイクルセンターの現状と活動状況について	(1) クリーンセンター現在の焼却炉現状について伺う。 (2) 新設ごみ処理施設、進捗状況について伺う。 (3) リサイクルセンター小型焼却炉活動状況について伺う。	町長	(1) クリーンセンターの焼却については、1日8トン前後で作業を実施しております。順調に稼働しております。 (2) 久米島町ごみ焼却施設整備設計業務委託と測量調査業務委託を執行しております。内容としては、測量調査及びボーリング調査を行い、それに基づく設計業務の基本的な仕様書の作成中でございます。 (3) 毎週月曜日に受入を行い、火曜日・水曜日に焼却処理をしております。5月～10月末時点での受入回数25日、持込み農家数354人、受入量24.7t、焼却処理量が廃プラ19t、木くず9.6t、処理回数43日、1日あたりの処理量が廃プラ約440kg、木くず220kgとなっております。	(1)、(2) 環境保全課 (3) 産業振興課
29	4赤嶺 秀徳	1. 軽石対策について	去った11月6日儀間漁港等に軽石が漂着した。本町と関係団体等の素早い立ち上がりで2日間で撤去されたものの久米島周辺海域ではまだ軽石が漂流している状況にあり漁業者の皆さんが出漁を控えている現状である。3点について伺う。 (1) 漂流・漂着軽石の今後の対策について (2) 既に海岸に打ち上げられている軽石の対策について (3) 漁業者への支援あるいは補償について	町長	(1) 今後の対策については、軽石被害の影響が予測できない状況でありますので、関係機関や漁港・港湾・海岸を所管する県との連携を図り、予算等も含め対応を検討してまいります。 (2) 既に打ち上げられている軽石については、関係機関と連携し撤去作業を実施した箇所もございしますが、潮流等の影響により再び漂着している場所もあることから、県と連携し対策を講じていきたいと考えております。 (3) 11月10日に、本町に対し久米島漁協から支援について要請がありました。報道等においても国が補正予算で対応したいとのことでありますが、現時点で具体的な情報が無い状況です。国又は県からの具体策があった段階で漁協と調整しながら支援を行いたいと考えております。	(1)、(2) 建設課 (3) 産業振興課
30		2. 道路整備について	県道89号字儀間388番地先設置のガードパイプが腐食により原形をとどめておらず歩行者に危険な状況である。調査の上早急な対策が必要と思うが見解を伺う。	町長	お示しいただいた箇所については、本年度においても県へ改修要望も提出しております。また、県担当者も10月に現地確認しており、予算が確保でき次第対応したいと考えております。	建設課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
31	4赤嶺 秀徳	3. ヤングケアラーについて	近年、全国的にもヤングケアラーについて問題が提起されつつある。2点について伺う。 （1）本町内のヤングケアラーの実態把握は行われているか。 （2）その対策をどのようにするか。	町長	（1）11月8日付けにて沖縄県青少年・子ども家庭課より、県内の小中高等学校、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、就学支援員及び地域包括支援センターに対し、ヤングケアラーの概数把握に関するアンケート調査を行っております。 （2）久米島町要保護児童対策地域協議会を軸とした関係機関等において、ヤングケアラーではないかという視点から家族の要介護者等の有無やその支援の状況、子どもの学校の出欠状況など家族全体の状況を共有し、アセスメントしていきたいと考えております。	福祉課
32	8棚原 哲也	1. 仲里総合グラウンド及び野球場の施設について	仲里総合グラウンドは、東西南北四面鉄製フェンスで囲む形で整備されてきたが、南側フェンスは劣化により撤去、北側（県道側）のフェンスは県道の整備に伴い撤去された状態にある。 （1）総合グラウンドは連日地域少年野球チームが使用しており、ボールが県道へ飛び出す事が多々あり、指導者や父兄からフェンスの再設置を求める要望がある。 （2）過去の大型台風により破損したナイター用照明の再設置を求めている。 上記2施設について早期に整備できないか伺う。 （3）野球場側のフェンスが劣化して危険な状況にあるが現状を把握しているか。 （4）野球場のスタンド座席シートが劣化して座れない状態にある。取り替える計画はあるか伺う。	町長	（1）仲里総合グラウンドの、フェンスの設置は予定しておりません。少年野球については野球場の利用を、お勧めしております。 （2）ナイター設備については、今後、施設の集約を図り一か所で整備を検討いたします。 （3）フェンスの劣化については把握しておりますので、適宜、修繕いたします。 （4）スタンド座席シートの劣化しているものについては修繕いたします。	環境保全課
33		2. 海岸漂着ゴミの処理について	町内のビーチ等にボランティアにより収集されたペットボトルやプラスチックその他漂着ゴミが収集処理されず放置された状態が多々見受けられる。町の取り組み方針を伺う。	町長	漂着ゴミのボランティアについては、町に申し込みをして、収集された漂着ゴミについては町が回収しております。今後とも町民のボランティアの活動については、積極的に推進してまいります。	環境保全課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
34	8 棚原 哲也	3. 奥武島西海岸の砂州の保全について	奥武島の西海岸の砂州は現状の位置により南側に約100mの場所に位置していたが、波浪の影響等により年次的に北側へ移動し海中道路の側面まで迫る状況になっていて、その影響を受け、航路が砂で埋まり船の航行に支障をきたしている。 （1）奥武島の船だまりへの航路の浚渫の早期の実施の必要性があるその予定は。 （2）南北に通じる航路全体の保全策について伺う。 （3）奥武島及びイーフビーチ海域の潮流調査について実施したか伺う。	町長	（1）船溜まりの航路浚渫については、今年の4月に実施しております。現場の変化を見ながら検討してまいります。 （2）航路につきましては、県管理の漁港区域となっておりますので、浚渫等を含め県へ要望してまいります。 （3）奥武島及びイーフビーチ海域については、平成29年度に水域調査を実施しておりますが、潮流調査は実施しておりません。	建設課
35		4. 墓地公園の整備について	火葬場、斎場、納骨堂が整備され、今後、墓地の区画整備の計画があると思うが、場所及びその規模及び施工実施時期について伺う。	町長	町営の霊園整備にあつたては、公平で永続的な墓地の供給を基本としながらも、周辺の自然環境や景観に配慮した整備を目指し計画しております。場所については、本町霊園整備基本計画に基づき、納骨堂周辺でございます。面積については、26,515㎡で計画実施時期については検討いたします。	環境保全課
36	9 喜久里 猛	1. 養蜂振興法について	巣箱から直径2kmは他の巣箱は置けないとあるが2km以内に自己所有地があってもおけないのか。年1回の申請者については実態がなくても前回申請者が優先するか。	町長	現在、沖縄県では、養蜂産業において蜜源の過密な状況が課題となっていることから、他の巣箱と2km以上距離をおくことによって、蜜源の確保が出来るとしております。 申請につきましては、「養蜂振興法」において防疫衛生上の観点から原則として届出の提出は必須となっているため、自己所有地に関係なく、近隣の既存養蜂家との調整が必要となります。届出の有効期限は最長で1年間であるため、実体がなくとも飼養を再開する可能性がありますので、届出を提出されている以上は前回申請者が優先になります。	産業振興課

令和3年12月定例会 一般質問 回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
37	喜久里 猛	2. 県道一周線について	県道一周線、上阿嘉と下阿嘉の道路はここ数年段差があり通行者が危険を感じているが改修計画はあるか。又その方法はどんな工法を考えているか。	町長	<p>県の回答をもとに報告いたします。</p> <p>当該区間の変状については、令和元年度から2年度にかけて地すべり調査を行っています。新たな地すべり面の確定には至りませんでした。道路改良工事の際に地すべり対策工事（抑止杭工）が実施されており、その効果が発揮されているものと考えております。今後の対応として、舗装補修工事を今年度で発注し路盤も含め改修する予定であります。補修後も変状等を注視しながら、必要に応じて対応を検討していく考えであります。</p>	建設課
38		3. マツ材線虫病（松くい虫）対策について	久米島で初めて松くい虫の被害が確認されたが現在から今後について町と県、国はどんな対策を考えているか。	町長	<p>町の単独予算も投入し被害松の集中している場所と五枝松周辺から防除を開始しております。</p> <p>国、県の補助事業も導入していただき伐倒焼却作業を実施いたしました。今後についても12月補正予算の追加と、県に対しても追加予算を要請しております。早期の被害松の完全終息を目指し取り組んでまいります。</p>	環境保全課
39		4. 人口減少問題について	町は人口減少問題について、いくつかの施策を行っているか。結婚問題について伺いたい。町内には結婚を希望する人がいるが、行政としては結婚問題に取り組む必要があると思うがどう考えるか。	町長	<p>人口減少に関する施策として、子育て支援や、教育の充実、所得向上、医療の確保など、様々な施策に取り組んでいるところであります。</p> <p>結婚を希望する方への取り組みとしては、現在、本町が主体となって行っているものは特にありませんが、沖縄県が婚活に関する取り組みを行っておりますので、情報提供や婚活イベントへ参加しやすくなるよう支援に努めてまいります。</p>	企画財政課